

報道関係各位

2016年11月7日

## 2017年3月期 第2四半期決算（IFRS） 当期利益は241億円に大幅改善

### 効率的で機動力のあるシンプルな組織の構築に向けた取り組みを継続

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は本日、2017年3月期第2四半期（上期）決算<sup>※1</sup> 発表しました。売上高は前年同期比 8%減の 8,704 億円となったものの、当期利益<sup>※2</sup> は 241 億円となり、当初予想および前年同期実績を大幅に上回りました。減収の主な要因は第1四半期と同様に、一部の事業の売却、為替変動の影響、LIXIL Building Technology（LBT）の近年の選別受注の結果ならびに海外プロジェクトの本体工事進捗の遅れです。為替や事業売却の影響を除いた実体ベースでは、LIXIL Water Technology（LWT）、LIXIL Kitchen Technology（LKT）、流通・小売り事業および住宅・サービス事業等は売上成長となりました。

※1 国際会計基準（IFRS）に基づく。

※2 親会社の所有者に所属する四半期利益。

事業利益は 398 億円で、今年 5 月に発表した当初予想を 93 億円上回り、前年同期比ではほぼ横ばいの 0.7%減となりました。LWT の海外事業は、事業利益 48%増と大幅増益となったものの、LBT 海外事業の減益と国内マーケティング費用などの販売費及び一般管理費の先行投資の増加で相殺されました。

営業利益については、前年同期の一過性損益の剥落により、前年同期比 17.2%増の 383 億円となりました。当期利益も、前年同期の一過性損失の剥落と為替差損益の好転によって 241 億円となり、425 億円の大大幅改善となりました。

LIXIL グループは、2016年10月19日に、2017年3月期通期業績予想について、最終損益が 380 億円の黒字となる大幅な上方修正を発表しました。これは上記理由により、上期利益が当初予想を大きく上回ったことによるものです。一方、売上高の通期業績予想については、新築やリフォームなどの国内需要や LBT の海外事業の見直しなどによって、1兆 7,800 億円へと下方修正しました。事業利益は、800 億円へ上方修正しました。

#### LIXIL グループ社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「LIXIL グループは、効率的で機動力のあるシンプルな組織へと進化を続けており、これまでに導入した数々の施策が、事業利益や収益性の面で成果として表れてきています。関連性の高い事業や製品分野における統合を推進するため、タイル事業の LHT から LWT への移管、LKT と LWT 間での水回り商材の連携強化、LWT Asia と LHT 海外事業本部の統合など、重要な組織変更を継続的に実施しており、さらなるシナジーの発揮につなげていきます。当社は、事業効率の向上とともに、B to B のお客様やエンドユーザーのニーズにすばやく対応できる体制の強化を今後も進めてまいります」

#### 各テクノロジー部門の上期業績

**LIXIL Water Technology（LWT）** は LIXIL、INAX、GROHE、American Standard などのグローバルブランドを展開しており、売上高は前年同期比 4%減の 3,183 億円となりましたが、現地通貨ベースでは 3%の増収となりました。事業利益は 17%増の 302 億円、事業利益率は 10%となりました。商品ミックスの改善、日本の技術の海外移転、海外の工場の生産効率改善が利益率の向上に寄与しました。事業を展開する全ての地域で増収を達成し、アメリカおよび欧州・中東・アフリカ（EMEA）地域で 5%の成長を実現しました。日本においても、タンクレストイレの一部の新商品の発売が遅れましたが、プラス成長を達成しました。さらに、GROHE Group S.a.r.l およびその関連会社を 2016年9月30日付で完全子会社化したことにより、今後の金融費用を抑え、シナジーを加速することができます。

**LIXIL Housing Technology (LHT)** は、売上高が前年同期比 3%減の 2,700 億円となりました。政府の省エネ住宅ポイントが前年 10 月に終了したことが減収の主要因です。また、リフォーム事業関連の国内マーケティング費用の増加により、事業利益は 8%減の 196 億円、事業利益率は 7%となりました。

**LIXIL Building Technology (LBT)** は Permasteelisa Group を含んでおり、売上高は前年同期比 25%減の 1,264 億円となり、事業損失 8 億 15 百万円を計上しました。Permasteelisa Group で近年に選別受注を行ったことや、本体工事進捗の遅れに加え、為替変動と前期末の上海美特幕墙有限公司の売却がそれぞれ 9%の減収影響となりました。日本においても、物件完工端境期にあることから減収となりました。

**LIXIL Kitchen Technology (LKT)** の売上高は、前年同期比 2%増の 547 億円となり、事業利益は 66%増の 8 億円となりました。日本において、高級品セグメントへの再ポジショニングが奏功したことに加え、中国でも合弁パートナーとの協業再活性化によって、現地通貨ベースの売上高が前年同期比 18%増となりました。日本および海外ともに事業利益が増加し、全体の事業利益率は 2%となりました。

**流通・小売り事業**の売上高は、前年の建デポ事業の分社化の影響から、前年同期比 12%減の 872 億円となりました。事業利益については、新店出店費用が増加したものの、前年同期比 2%増の 49 億円となり、事業利益率は 6%となりました。**住宅・サービス事業等**は、着実な売上を維持するとともに不動産売却を行ったことにより、売上高が 11%増の 323 億円となりました。事業利益については、広告費用などの販売費及び一般管理費が増加したことから 1%減の 23 億円となり、事業利益率は 7%でした。

## ■ LIXIL、LIXIL グループについて

LIXIL について

株式会社 LIXIL は、戸建住宅・マンションからオフィス・商業施設などの非住宅向けに、多岐にわたる建材・設備機器および幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業です。2011 年に国内の主要な建材・設備機器メーカー 5 社が統合して誕生しました。以後、American Standard Brands、GROHE、Permasteelisa Group といった海外企業の統合により、世界的ブランドを傘下に収め、現在、LIXIL Water Technology、LIXIL Housing Technology、LIXIL Building Technology、LIXIL Kitchen Technology の 4 つのテクノロジー事業に加え、日本における営業活動を担う LIXIL ジャパンカンパニーを軸に幅広く事業を推進しています。

LIXIL グループについて

株式会社 LIXIL グループ（証券コード：5938）は、中核事業会社である株式会社 LIXIL をはじめ、株式会社 LIXIL ビバ、株式会社 LIXIL 住宅研究所などを傘下に持つ持株会社で、東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しています。多岐にわたる建材・設備機器の製造、販売に加え、ホームセンター事業や住宅フランチャイズチェーンの運営、不動産サービスなど、幅広い住関連サービスを展開しています。2016 年 3 月期の連結売上高は 1 兆 8,905 億円※です。

※国際会計基準（IFRS）ベース